

第3回鹿嶋市第九交響曲コンサートのソリストオーディションの出演者を募集します。

鹿嶋市では、一般公募による市民合唱団とオーケストラによる第3回鹿嶋市第九交響曲コンサートを行います。この演奏会にソリストとして出演する方のオーディションを開催します。

○申込み方法 平成29年6月30日（金）までに、鹿嶋勤労文化会館ホームページからダウンロードした申込書に必要事項を記入の上、課題曲を録音した媒体（CD-R等）を鹿嶋勤労文化会館へ直接持参、または郵送にてお申送ください。

※録音媒体は、高音質で録音したオーディオファイル形式（MP3、WAV等）のCDで、エラーをさけるために必ずファイナライズをしてください。

ホームページ：鹿嶋勤労文化会館 <http://cs-kashima.jp/kinbun/>

○パート ソプラノ、アルト、テノール、バリトン

○応募資格

- ・18歳以上、声楽の専門教育を受けた方、またはそれと同等の実力を有する方
- ・平成29年12月10日（日）の第3回「鹿嶋市第九交響曲コンサート」及び12月9日（土）の前日リハーサルに出演及び参加可能な方

○課題曲 ベートーベン作曲「交響曲第九番ニ短調作品125」より指定箇所（前後数小節の伴奏演奏は可とする。）

- ・ソプラノ：304小節～312小節 777小節～801小節 830小節～842小節
- ・アルト：300小節～312小節 830小節～842小節
- ・テノール：375小節～431小節 830小節～842小節
- ・バリトン：216小節～256小節 830小節～842小節

○事前選考 応募者が多数（各パートそれぞれ4名以上）の場合は、提出された書類と録音による事前選考を行いません。合格者は7月15日頃までに通知します。

○オーディション

- ・開催日 平成29年8月6日（日） 17時から
- ・オーディション会場 鹿嶋勤労文化会館リハーサル室（鹿嶋市宮中325-1 TEL0299-83-5911）
- ・選考委員（3名）
 - ・寺谷千枝子（東京藝術大学音楽学部教授 メゾ・ソプラノ歌手）
 - ・平松 英子（東京藝術大学音楽学部教授 ソプラノ歌手）
 - ・近藤 良（鹿嶋市第九交響曲コンサート音楽総監督）

- ・その他 伴奏者は各自でご用意ください。但し、有償（8,000円）により事務局が用意することも可能。

○出演料 オーディションの合格者は第3回「鹿嶋市第九交響曲コンサート」当日と前日リハーサルへの出演料及び参加経費として8万円(税込み)を支払います。

◇ 第3回鹿嶋市第九交響曲コンサート ◇

日時・場所：平成29年12月10日（日）16時から 鹿嶋勤労文化会館ホール

合唱：KASHIMA 第九合唱団 管弦楽：KASHIMA 祝祭管弦楽団 指揮：河地良智

主催：鹿嶋勤労文化会館・公益財団法人鹿嶋市文化スポーツ振興事業団

寺谷 千枝子 (メゾ・ソプラノ)

東京藝術大学卒、同大学院修了。ハンブルク国立音楽大学声楽科、オペラ科共に首席で卒業。在学中、メスフィールド賞を受賞。1980年、オランダのセルトヘンボス国際声楽コンクール第2位入賞。

1981年ドイツのブレーマーハーフェン歌劇場とソロ専属契約を結び、「ばらの騎士」のオクタヴィアンでデビュー。「セヴィリアの理髪師」のロジーナ、「アルジェのイタリア女」のイザベラ、「ヘンゼルとグレーテル」のヘンゼル等の役を演じる。

次いで1983年からはボン歌劇場とソロ専属契約を結び、本格的な活躍を展開する。「アンドレア・シェニエ」のベルシ、「ファウスト」のシーベル、「皇帝ティトゥスの慈悲」のアンニオ、「カルメン」のメルセデス、「蝶々夫人」のスズキ、「こうもり」のオルロフスキー、「ナブッコ」のフェネーナ等の役を演じる。またベートーヴェン・ハレ・オーケストラとベートーヴェン、バッハ、モーツァルト、ヘンデルなどの数々のオーケストラ作品を歌った。

1990年より拠点をハンブルクに移し、「運命の力」のプレツィオシルラ、「ドン・カルロ」のエボリ公女など、ドラマティックな役にレパートリーを広げる。その後フリーの歌手としてハンブルク国立歌劇場、フランクフルト国立歌劇場、ブレーメン国立歌劇場、フライブルク市立歌劇場などドイツを中心に、フランス、ストラスブールのライン・オペラ、モンペリエ歌劇場、オーストリアのインスブルック歌劇場等、オーケストラではハンブルク交響楽団、ケルン・フィルハーモニーほかヨーロッパ各地で客演。1990年にはニューヨークでアメリカ・デビューを果たすほか、世界的ブームとなったポーランドの作曲家グレツキの交響曲第3番「悲歌のシンフォニー」をドイツ、アメリカ、オランダ、日本で初演。さらにポーランドのブレスラウ現代音楽祭に招かれるほか、ユーゴスラビアでは大野和士指揮/ザグレブ・フィルとマーラーの交響曲第3番を歌う。近年ではスーウォン国際音楽祭に出演して韓国デビューを果たしたほか、リッカルド・シャイー指揮、ロイヤル・コンサートヘボウ管弦楽団日本公演のソリストを務めるなど、さらにその活躍の場を広げている。

日本でも、ネッロ・サンティ、エリアフ・インバル、シャルル・デュトワ、ジャン・フルネ、チョン・ミュンフン、オンドレイ・レナルト、ミシェル・コルボ、ガリー・ベルティエニ、ゲルハルト・ボッセ、小澤征爾、若杉弘、大野和士、大植英次、沼尻竜典などと言った著名指揮者のもと数々のステージに迎えられ、ヨーロッパでの名声を裏付ける実力を披露。これまでに在京及び地方主要オーケストラとの共演、二期会、日本オペラ振興会、新国立劇場等の舞台への出演を行っている。「危なげなく磨かれた声」、「信頼性の高い表現」等その役作りと音楽の読みの的確さ、安定した歌唱は、わが国を代表するメゾ・ソプラノとして常に高い評価と信頼を得ている。

東京藝術大学教授。

平松 英子 (ソプラノ)

東京藝術大学、同大学院修了。ドイツ学術交流会(DAAD)奨学生としてミュンヘン音楽大学に留学。

マイスタークラス在学中にバッハ・コレギウム・ミュンヘンの J.S.バッハ「ヨハネ受難曲」でデビューする。修了後、西ドイツの複数の劇場と契約しモーツァルトの歌劇「魔笛」のパミーナ役でオペラデビュー。そして第1回ミュンヘン・ビエンナーレにてデトレフ・グラナート作曲のオペラ「ライラとメチュヌーン」の初演に出演。また J.S.バッハ、ヘンデル、ハイドン、モーツァルト、ブラームスなどの宗教曲のソリストとしても、ヘルマン・プライやペーター・シュライヤー、エディット・マティスなどと共演、高い評価を獲得する。そしてウェーバー歌劇「魔弾の射手」エンヒェン役で帰国デビュー後、拠点を日本に移し、オペラからオラトリオ、歌曲まで幅広く活躍。バッハ、モーツァルトからヒンデミット、バーンスタイン、マルタン、ベルクなど現代曲までを歌いこなす柔軟な音楽性は、日本を代表するリリック・ソプラノとして、今は亡き巨匠ジュゼッペ・シノーポリをはじめ国内外の多くの指揮者の賞賛の的となっている。最近では細川俊夫の新作「クリスマス・カンタータ」の独唱者としてミュンヘンでの世界初

演の成功に貢献した。CD 録音では「マーラー:大地の歌」「細川俊夫歌曲集:恋歌」「湯浅譲二:美しいこどもものうた」「ロドリーゴ:4つの愛のマドリガル」「R.シュトラウス:オフェーリアの歌」「ハイドン:天地創造」「ブラームス:ドイツ・レクイエム」「メンデルスゾーン:エリヤ」などがあるが、「シューベルト歌曲集」(イェルク・デムス伴奏)、「マーラー歌曲全集」(ソプラノ独唱による世界初の全集)、中田喜直芸術歌曲選集など、多くの録音プロジェクトが進められている。

フェリス女学院大学教授を経て、現在、東京藝術大学音楽学部声楽科教授。ジロー・オペラ新人賞受賞。2011年度ジュネーブ国際音楽コンクール声楽部門審査員。専属アーティスト。

近藤 良 (クラリネット)

「鹿嶋市第九交響曲コンサート」音楽総監督

大阪芸術大学卒業後、ドイツ・ケルン国立音楽大学に留学する。クラリネットを H.D.クラウス氏に、室内楽をアマデウス弦楽四重奏団に師事する。1983年、日本文化会館(ケルン)のコンサートシリーズ『ヨーロッパの日本人音楽家(Japanische Musiker in europaeischen Staedten)』にアマデウス四重奏団のチェリスト、M.ロヴェット氏の推薦により出演する。以後、デュッセルドルフ総領事館、フランクフルト総領事館等々の主催によるコンサート、室内オーケストラのソリスト等、専門的な室内楽奏者として国内外で演奏活動を行なっている。

現在、鹿嶋市に芸術音楽研究所 KASHIMA を開設し、芸術としての音楽の追究と発展のために、教育、放送等々、様々な活動を行なっている。

これまでに、M.ロヴェット (Vc.アマデウス S.Q)、S.トゥルノフスキー (Fg.ウィーン・フィル首席)、Z.ティルシャル (Hr.チェコ・フィル首席)、L.ヴァルコール (Ob.フランクフルト放響首席)、H.ピツカ (Hr.バイエルン国立歌劇場首席)、U.ショインネ (Va.タピオラ・シンフォニエッタ首席)、コチアン S.Q (プラハ)、T.ヴァルツ (Pf.ケルン音大教授) 等、海外の優れた音楽家たちと共演し、常に高い評価を得ている。

また、Deutsche Schallplatten, Haenssler CLASSIC, Unison Music, 徳間ジャパン・コミュニケーションズから多数のCDがリリースされている。